

中小企業等におけるDX人材の育成

を支援しています！

経済産業省のDXレポートによれば、95%の企業はDX（デジタルトランスフォーメーション）に全く取り組んでいないか、取組み始めた段階であり、全社的な危機感の共有や意識改革のような段階に至っていないとされています。

また、DXの定義は、データとデジタル技術を活用して、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化、風土を変革し、競争上の優位性を確立することとしていますが、それらを推進するためには、社内においてDX活動をけん引するDX人材の育成が不可欠です。

生産性向上人材育成支援センターでは、令和4年度から生産性向上支援訓練カリキュラムモデルのうち「DX対応コース」を選定・拡充し、中小企業・事業主団体等の“DX人材の育成”を支援しています。

DX対応コースの概要

DX対応コースでは、カリキュラムモデルを3つの課題別に分類しており、それぞれの課題解決に効果的な訓練コースをご提案しています。

○訓練で習得できる要素例

- ・デジタル化による業務改善
- ・新しい生活様式を踏まえた取組み
- ・新たな業務プロセスの導入や改善
- ・ビジネスモデルに関する取組み

○受講対象者

事業主の指示を受けた在職者

○訓練日数

概ね1～5日（4～30時間）

○受講料（1人あたり・税込）

2,200円～6,600円

○訓練会場

自社会議室等を訓練会場とすることが可能です（企業に講師を派遣します）



訓練受講までの流れ

課題や方策の整理

・センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。

訓練コースの
コーディネート

・相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

- ・自社業務に適切なITツールを選定したい
- ・POSシステムを活用して売上げを伸ばしたい

課題 デジタル化と新たな生活様式の課題への対応

コース
・ITツールを活用した業務改善
・POSシステムの活用技術 など

- ・システム化に伴うコストの考え方を知りたい
- ・物流全体の最適化・効率化を実現したい

課題 業務プロセスの課題への対応

コース
・失敗しない社内システム導入
・物流のIT化 など

- ・DXの推進を考えているが導入手順を知りたい
- ・システム開発に必要な発注者の役割を理解したい

課題 ビジネスモデルの課題への対応

コース
・DX（デジタルトランスフォーメーション）の導入
・ベンダーマネジメント力の向上 など

訓練受講

・所定の期日までに受講料の支払い等の手続きを行い、訓練を受講してください。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

～生産性向上人材育成支援センター(生産性センター)は、事業主の皆様の生産性向上に向けた人材育成を支援しています～



DX対応コース一覧

全46コース (2022年4月現在)

生産性向上支援訓練カリキュラムモデルについて、訓練目的による分類とは別に、3つの課題を切り口として設定し、それぞれの課題解決に対応したコースを分類しています。また、企業のデジタル化を下支えする「ネットワーク・セキュリティ」に関するコースを共通領域として設定しました。

デジタル化と新しい生活様式の課題への対応 12コース

009 POSシステムの活用技術
056 ITツールを活用した業務改善
091 企業内でIT活用を推進するために必要な技術理解
092 企業内でIT活用を推進するために必要なマネジメント
095 ビッグデータ活用
055 RPAを活用した業務効率化・コスト削減
096 RPA活用
083 テレワークを活用した業務効率化
088 テレワーク活用
120 データサイエンス入門

生産・業務プロセスの改善

122 テレワーク業務における労務管理

横断的課題

123 オンライン営業技術

売上げ増加

業務プロセスの課題への対応 19コース

007 在庫管理システムの導入
016 物流のIT化
013 流通システム設計
014 物流システム設計
012 卸売業・サービス業の販売戦略
018 クラウド活用入門
020 クラウドを活用したシステム導入
054 クラウドを活用した情報共有能力の拡充
093 IT技術による業務改善
094 AI(人工知能)活用
090 失敗しない社内システム導入
087 導入コストを抑えるクラウド会計・モバイルPOSレジ活用

ビジネスモデルの課題への対応 9コース

015 3PLとSCM
017 SCMの現状と将来展望
019 IoT活用によるビジネス展開
089 データ活用で進める業務連携
117 DX(デジタルトランスフォーメーション)の導入
118 ベンダーマネジメント力の向上
119 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

022 IoTを活用したビジネスモデル
121 ビジネスとSDGs(持続可能な開発目標)の融合

027 マーケティング志向の営業活動の分析と改善
028 統計データ解析とコンセプトメイキング
046 インターネットマーケティングの活用
036 プロモーションとチャネル戦略
047 チャンスをつかむインターネットビジネス
029 顧客分析手法
045 顧客満足度向上のためのCS調査とデータ分析

ネットワーク・セキュリティの共通領域 6コース

021 IoT導入に係る情報セキュリティ
099 社内ネットワークに役立つ管理手法
116 情報漏えいの原因と対応・対策

098 ワイヤレス環境に必要な無線LANセキュリティ
115 脅威情報とセキュリティ対策
125 テレワークに対応したセキュリティ対策